



葛飾区協働事例集
2015年版



葛飾区協働事例集

発行日：平成27年3月
発行：葛飾区
〒124-8555 東京都葛飾区立石5-13-1
電話 03-3695-1111（代表）
<http://www.city.katsushika.lg.jp>

編集：葛飾区政策経営部協働推進担当
電話 03-5654-8177（直通）

取材・編集・デザイン：株式会社Jリポート

この冊子は、印刷用の紙ヘリサイクルできます。

葛飾区協働事例集の発刊にあたって



葛飾区は、人情にあふれ、地域内での人と人とのきずなが強い土地柄です。そのため、かねてより様々な人や団体、工業、商業、農業をはじめとする区内産業に携わる方々などにより、地域を良くしようとする活動が連携して行われてまいりました。このきずなによる活動は、現在に至っても脈々と受け継がれています。

この特色を大切にするとともに、更に大きく発展させて、本区と関わりのある方々や団体、事業者の皆様がそれぞれの特性を生かして協働することにより、地域を良くしようという活動はより一層の効果をあげることができます。そして、この協働の取り組みが広がり、積み重ねられていくことにより、「夢と誇りあるふるさと葛飾」を築くことができると考えています。

本区では、現在、様々な形で協働による素晴らしい活動や事業が行われています。これらのうちのごく一部ではありますが、皆様にご紹介したいと考え、この葛飾区協働事例集を作成いたしました。

この事例集により、本区で行われている協働の取り組みやそれに携わる方々の熱い思いなどをお伝えすることができ、一人でも多くの方に地域を良くする活動に関心を持っていただき、また、参加していただけるようになれば幸いです。

今後も引き続き、本区で行われている協働とそれに取り組んでおられる方々を、様々な方法で皆様にお伝えしていきたいと考えております。

最後になりましたが、本事例集の作成に当たって取材にご協力いただいた皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。

平成27年(2015年)3月

葛飾区長 青木 克徳

●花と緑がいっぱい みんなが憩えるまちづくり 花いっぱいのまちづくり	36
●美しく・泳げる川を取り戻そう 葛飾の川をきれいにする取り組み	38
●自分たちの森づくりを、思い出の学校で実現 松南の森プロジェクト	40
●ご近所で自主的な資源のリサイクルを! 資源の集団回収	42
●「リカちゃん」たちが、打ち水でエコ活動! 葛飾区地球温暖化対策地域協議会	44
●地域の課題を解消“生活密着型”的まちづくり まちづくり懇談会	46
●地場産業が集結! 子どもたちも体験“産業教育” 葛飾区産業フェア	48
●錦絵にも描かれた 2百種の花菖蒲が競演 葛飾菖蒲まつり(堀切菖蒲園会場)	50
●1万4千株の花菖蒲が異次元空間を演出 葛飾菖蒲まつり(都立水元公園会場)	52
●大人気“こち亀”銅像めぐりに、外国人観光客続々 亀有地区商店街協議会	54
●新規バス路線で、高齢者や地域の“足”を助ける バス社会実験運行	56
●“美食伝説”はじまる! 地元の味覚を大アピール かつしかフードフェスタ 2014	58
●“感動日本一”的心意気で! 葛飾納涼花火大会 葛飾納涼花火大会	60
協働推進担当からのお知らせ 職員出前講座	62
問い合わせ先一覧	64

区長あいさつ	1
●意欲的な防災活動で“東京防災隣組”に認定 地域別地域防災会議	4
●想定 首都直下型地震! 医療従事者も参加の大規模訓練 総合防災訓練	6
●火災からまちを守る 自分たちで初期消火 市民消火隊	8
●都内でいちばん早く開始 建築相談歴 50年 木造住宅等耐震事業・相談会	10
●放置自転車一掃で 安全・快適なまちに 放置自転車追放および盗難防止キャンペーン	12
●食の安全・悪徳商法に、自ら生活防衛を! 葛飾区消費生活展	14
●青色パトロール・防犯カメラ設置で犯罪抑止 青色パトロール隊(堀切地区)	16
●地域の子どもは、地域で育てよう 学校地域応援団	18
●地域資源がテーマ 郷土かるたで日本一をめざす かつしか郷土かるた	20
●たくさんの個性が混ざり合い、育ちあう場に 葛飾区子育てひろば「いろは」	22
●会話を交え、みんなでわいわい! 高齢者昼食会 ふれあい共食会	24
●地域のボランティアが“高齢者の不安”を聞く 葛飾区シニア・ピア・傾聴ボランティア	26
●立って♪ 座って♪ 区歌に合わせた健康体操 かつしかはつらつ体操	28
●元気な高齢者が、フィットネスで運動習慣を! 運動週間推進プラチナ・フィットネス	30
●まちぐるみで健康な食事をサポート 「かつしかの元気食堂」推進事業	32
●障害のある方が、気軽に立ち寄れる“たまり場” 障害者自立支援事業	34

意欲的な防災活動で、東京防災隣組に認定

地域別地域防災会議

柴

又地区連絡会(柴又北野町会・ガーデンプラザ柴又自治会)は、平成24年度から

地域別地域防災会議を運営しています。初年度は区および都、



2年目以降は区単独のモデル事業として、学校やPTA、関係機関と共に、防災についての話し合いを重ね、年に2回、行政機関と連携した大規模な防災訓練を実施しています。

成果は、①小学校で避難所生活訓練を実施し、避難所開設の流れを整理、②避難者名簿を速やかに作成するための「避難者カード」を考案、③災害時に自宅の玄関や郵便受けなどに貼

つて「無事です」「助けて」など安否を知らせるシールを作成したことなどです。

災害時避難者カードと安否確認シールは、訓練で実際に使ってみて、改良を重ねたアイデア作で、柴又地区連絡会は、都が防災に意欲的な団体を認定する「第三回東京防災隣組」に認定されました。

防災訓練の参加者数ですが、震災前と震災後で、どちらが多いと思いますか？これが震災直後は変わらなかつたんです。甚大な被害をもたらした震災ですから、防災意識が高まっていることは間違いないけれど、普段の多忙な生活中では、皆さんなかなか参加してもらえないんですね。でも、モデル地区となつてからは徐々に増えてきています。

災害時には、地域の住民同士で助け合うことが絶対に必要になります。ぜひ地域の防災訓練に参加して、地域で顔見知りになつてほしいと思います。

柴又北野町会 会長 高木一夫さん

会議を重ね、訓練に挑む
柴又地区連絡会の皆さん



ここが魅力！1

防災ネットワークを構築
および地域防災力の強化

ここが魅力！2
行政の助成制度を活用
モデル地区として本格的に実施

ここが魅力！3 行政機関と連携した
大規模な防災訓練(年1回)

協働の仕組み

区

- 防災課
 - ・地域別地域防災会議
 - ・防災資器材の助成

警察署・消防署

- ・地域別地域防災会議
- ・側面支援

区民

- 柴又地区連絡会
(柴又北野町会、
ガーデンプラザ柴又自治会)
- 学校、PTA
- ・地域別地域防災会議運営

想定

首都直下型地震！医療従事者も参加の大規模訓練

総合防災訓練



総合防災訓練は、首都直下型地震などの大規模な災害が発生したとの想定で、区や区民、防災関係機関が一体となって実施する大規模な訓練です。平成26年の青戸地区での訓練は、葛飾区医師会、東京慈恵会医科大学葛飾医療センターの医師などの関係機関と連携し、600人規模の参加がありました。

避難所および緊急医療救護所となる青戸小学校では、避難所の設備確認、避難者の受付、食料の配布などの訓練や、軽症者は青戸小学校で治療、重症者は災害拠点病院の東京慈恵会医科

大学葛飾医療センターへ搬送して治療を受けるといった、それぞれの医療機関の役割を確認する、初めての医療救護訓練を行いました。

大規模災害時には、区民が自ら行動できることが大切です。参加した青戸共和会は、今後も地域の方に防災意識を高めるよう働きかけていくとしています。

多くの人が助かるように精いっぱいお手伝いしたい
この辺りも高層マンションが立ち並び、30～40代の方が増えてきてています。マンションは安全だと思っているかもしれませんのが、災害時には、避難場所に行くことになります。その時にどう行動するか？私は、昭和22年のキャサリン台風でこの辺りが水浸しになつたのを経験しており、とても心配しています。このような災害が起つたときは、多くの人が助かるように、精いっぱい町会でお手伝いするつもりです。あと、若い人たちにも防災意識をより高めていただければと思っています。



青戸共和会 会長 伊藤政一さん

協働の仕組み



問い合わせ <防災課> 直通電話: 03-5654-8572

災からまちを守る自分たちで初期消火

市民消防隊



数名のチームが必要です。また、各地域の公園などに設置された「防災倉庫」の備品をチェックしたり、防災訓練指導、普通救命講習を受けるなど日々取り組んでいます。実際に東日本大震災で活躍するなど、市民消防隊の役割は重要なっています。



いざ火事となつた場合、早い段階で消火や救助活動が行われると、被害が少なくてすみます。消防車が到着するまでの間に、住民らの手で消火や救助活動ができる方がよいとして、東京消防庁の指導により「市民消防隊」が設置されました。現在は区に移管され、防災市民組織(自治町会)の消防隊として活動しており、葛飾区には現在32団体あります。

市民消防隊は、有志の方が集まって、休日などに消防ポンプによる初期消火や操法などの訓練を行っています。消防ポンプの操作は、一人ではできず、複

ざ火事となつた場合、早い段階で消火や救助活動が行われると、被害が少なくてすみます。消防車が到着するまでの間に、住民らの手で消火や救助活動ができる方がよいとして、東京消防庁の指導により「市民消防隊」が設置されました。現在は区に移管され、防災市民組織(自治町会)の消防隊として活動しており、葛飾区には現在32団体あります。

実際の災害時でも活躍人助けは嬉しいです

10年前に引っ越してきたとき、葛飾区の人たちって温かいといふか「一緒にやろうよ」と誘われて入隊しました。ジャンパーは、四つ木町会で揃えたもの。消防士に憧れもあり誰にでもわかりやすいオレンジにしました。消防ポンプの操作を競う大会で、自分たちのチームが段取り良くきて、より一層結束力が高まりました。実際の災害時でも活躍したんですよ。消火活動はしなかつたけど、帰宅困難者を支援するために誘導したり、避難所に来た人に毛布などを配布しました。人助けになるのは嬉しいですよね。

四つ木町会 市民消防隊 隊長
大和田高志さん

協働の仕組み



問い合わせ <防災課> 直通電話: 03-5654-8224

都内でいちばん早く開始 建築相談歴50年

木造住宅等耐震事業・相談会



建

築相談の始まりは50年前。

東京都建築士事務所協会葛飾支部の先代支部長の提案の下、都内で一番早く始めました。

今は、古い木造建築物やマンションなどの耐震化の促進を図るため、一般社団法人東京都建築士事務所協会葛飾支部のメンバーは月曜と木曜、葛飾区役所での耐震助成相談窓口を開設しています。また、耐震診断や耐震改修工事など(耐震診断・改修設計・改修工事・建替え・除却(解体))にかかる費用の一部に助成金が出るので、区の担当者と一緒に耐震助成などの説明会を年に20回開催しています。

ます。6年前に試行錯誤しながら説明会を開き今日の形になりました。

耐震助成相談の後、耐震診断に始まり改修設計、改修工事まで工務店などと連携し、最後までサポートします。長く地元に住む建築士ならではのアドバイスが受けられるとあって好評です。



協働の仕組み

区

- 建築課
 - ・耐震化促進普及啓発活動
 - ・支援事業

一般社団法人

- 東京都建築士事務所協会 葛飾支部
 - ・木造住宅の耐震診断
 - ・区役所での相談対応
 - ・説明会の開催

工務店施工

問い合わせ <建築課> 直通電話: 03-5654-8552

30年先も安心の住宅に成果が出ると嬉しいです
やりがいはお客様が喜んでくれることです。
昭和30年～40年代の家は筋か
い、基礎などが不明瞭なので、
地震のときにゆれが大きく感じ
ます。
改修工事をした後に、「今まで
は小さな地震でも身構えてし
まっていたけど、工事後は地震
に気付くのが遅くなつた」とか、
「潰れる心配がなくなつた」と言
うお客様の声を聞くと、こういっ
た活動は成果が見えるので、実
感が湧きます。

30年先も安心の住宅に
成果が出ると嬉しいです

一般社団法人東京都建築士事務所協会 葛飾支部
支部長 植竹和重さん



放置自転車一掃で・安全・快適なまちに

放置自転車追放および盗難防止キャンペーン

チラシやポケットティッシュなどの
啓発グッズを駅周辺などで配布

放
置自転車追放および盗難
防止キャンペーンは、自
転車の放置防止活動と適正利用
の啓発を通じて、安全で快適な
まちをつくる運動です。平成元
年から活動を開始しました。

放置自転車は人の迷惑となる
だけでなく、障害のある人や高
齢者、子どもにはとても危険な
ものです。また災害などの緊急
時においては、救急・消防活動
の妨げにもなりかねません。

活動は、盜難の多い区内9駅
の周辺など、自転車が集中する
地域でチラシやポケットティッ
シュなどの啓発グッズを配布し、
放置自転車一掃を呼びかけて

います。平成26年度は合計11回
開催、各団体から約600人が
参加しました。

毎回参加している東京葛飾
バイクロジー推進協議会では、
正しい自転車の利用を啓発す
るマナー・パレードや、小学生・
高齢者への交通安全講習会も
行っています。

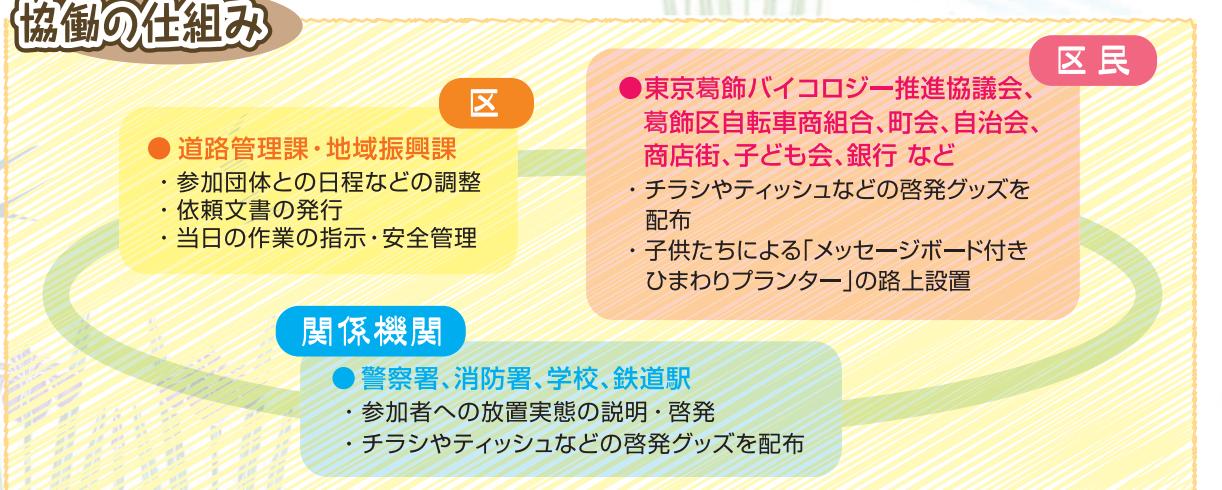
自転車を活用して欲しい
楽しく、正しく
もともと勤めていた会社が、
戦後、自転車の製造・販売を始
めたんです。それからずっと自
転車に関わっているから、もう
かれこれ70年になりますね。
自転車は、正しく使えば健康
にもいいし、環境にも優しい乗
り物なんです。でも放置自転車
は、事故の原因になる。防災や
景観の面でも問題があるしね。
これを無くしたいという使命感
があります。私は94歳ですがま
だまだがんばりますよ。最近で
は地域の方の意識も変わってき
て、「がんばって!」と声をかけ
ていただくこともあります。



東京葛飾バイクロジー推進協議会 会長
矢崎文彦さん



協働の仕組み



食の安全・悪徳商法に、自ら生活防衛を!

葛飾区消費生活展

消

費者を取り巻く環境は今、環境エネルギー問題をはじめ、食の安全・安心の問題や悪徳商法の増加など様々な課題を抱えています。葛飾区では、消費者に自立した生活防衛の意識を高めてもらおうと、区内の6つの消費者団体らが中心となって葛飾区消費生活展を開催、今年で43回目を迎えます。

毎年、社会情勢を反映した統一テーマに沿って各団体が調査を行い、パネル展示で発表します。昨年の42回では、消費者教育用体験型ボードゲーム「葛飾区消費者団体連合会」や、消費者

問題について学ぶクイズ形式のスタンプラリーなど、楽しみながら学べる体験型の催しが好評でした。

消費生活展をきっかけに、消費者が自ら考え、行動し、コミュニケーション同士の連携が強まっていくことを活動の目的としています。

一番の悩みは後継者がいないこと。若い人たちにも参加してもらいたいです。消費生活展はあと8回で節目の50回。それまで元気でがんばってやっていきたいですね。

葛飾区消費生活展実行委員会 会長
谷茂岡正子さん



協働の仕組み



問い合わせ <消費生活センター> 直通電話: 03-5698-2316

青色パトロール・防犯力メラ設置で犯罪抑止

青色パトロール隊
堀切地区

地域の安全・防犯のため
パトロール活動



安

全で安心なまちづくりを進めることは、警察や区だけではなく、住民による地域安全パトロールなどの活動も併せて行われることが最も効果的だとして、区は多様な助成制度を設けています。その一つに、各種犯罪の抑止、不審火の警戒などを利用とした青色防犯パトロール活動があります。

南綾瀬自治町会連合会・青色パトロール隊は、平成20年に結成されました。町会役員や亀有警察署の防犯指導員と、警視庁・東京都公安委員会から委嘱された少年指導委員、補導員らが一緒に、青色回転灯を搭載

した2台の“青パト”車で、堀切地区及びその周辺地域をパトロールしています。また平成26年12月には、街頭防犯カメラを、青色パトロール隊の母体でもある堀切五丁目親交自治会が設置しました。地域のイベントへの参加や広報活動などを通じて、防犯意識の啓発を行っています。

このまちでの犯罪は私たちが許さない！

普段は少年サッカーチームでの指導をしています。補導員でもあるので、子どもに関わることが多いですが、つくづく感じるのは、この子たちの育つまちを、安全で安心な場所として保ちたいということ。誰かに任せっきりというのではなく、自分たちのまちは自分たちで守るという意識が大事なんじゃないかと思うんです。

いま葛飾には同じようなパトロール隊が10隊あるんですが、今後は横の連携をうまくとつて、区内全域の防犯活動を力発していきたいですね。(羽場さん談)



(右)南綾瀬自治町会連合会・青色パトロール隊 隊長 羽場公一さん
(左)堀切五丁目親交自治会 会長 野口留治さん



協働の仕組み

区

- 防災課
 - ・防犯パトロールの資器材助成
 - ・青色パトロールの経費助成
 - ・防犯カメラの設置費などの助成

区民

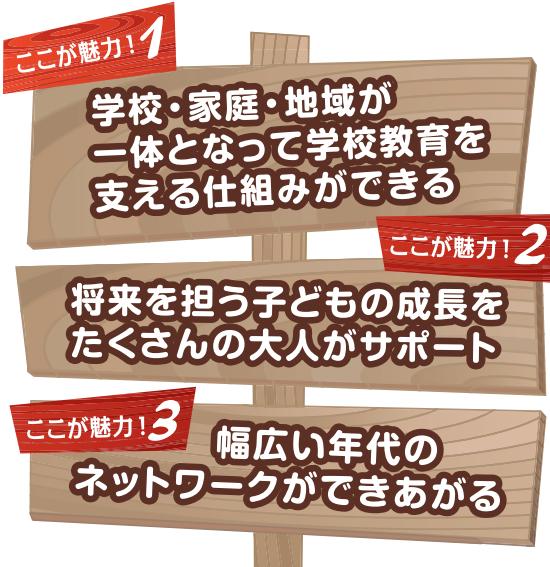
- 自治町会、PTA、青色パトロール隊、NPOボランティアなど
 - ・防犯パトロール
 - ・青色防犯パトロール
 - ・防犯カメラ設置
 - ・子どもの見守り活動

警察署・消防署

- ・各種情報提供
- ・各種教養の指導

地域の子どもは、地域で育てよう

学校地域応援団



て登録し、サタデイチャレンジ教室(定期テスト前の学習教室)の開催、図書ボランティア、校内の大掃除などを行っています。

葛飾区では、地域ぐるみで子どもたちの教育を支え、豊かな教育環境を整備する学校地域応援団を、区立小・中学校全校に設置していきます。

今回、団長にお話を聞いた常盤中学校地域応援団では、保護者など80名がボランティアとして登録されています。

「ボランティア活動の自主性を尊重する」、「無理はしない」、「自分のできる範囲で参加する」、「心を通い合わせる」ことなどを大切にしながら学校支援の活動を行っています。

校地域応援団は、これまでの地域と学校との協力関係を基盤として、さらに、さまざまな人や団体がボランティアとして参加しやすい仕組みを作る取り組みであり、学校を中心とした支援の輪を広げています。

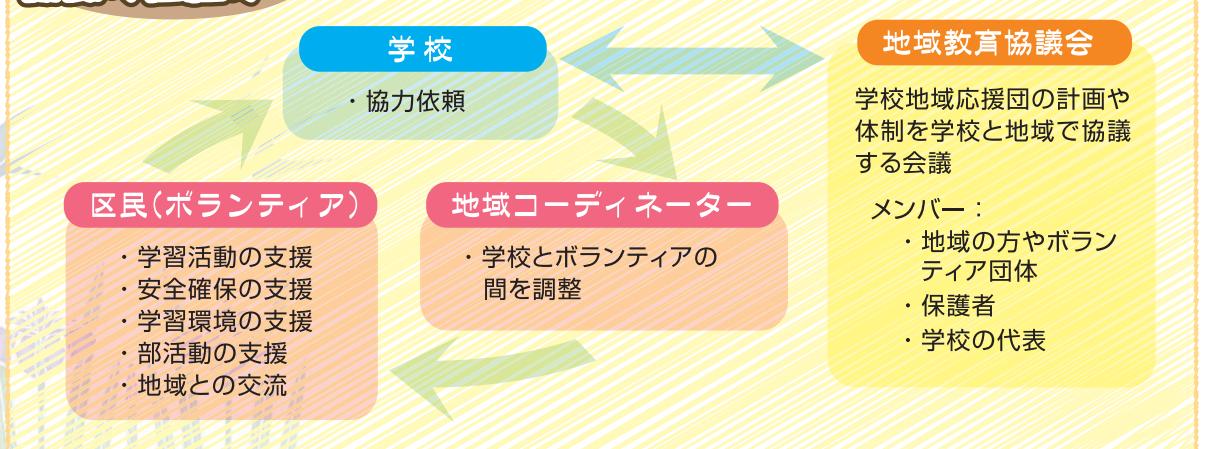
各学校の学校地域応援団では、「ボランティア活動の自主性を尊重する」、「無理はしない」、「自分のできる範囲で参加する」、「心を通い合わせる」ことなどを大切にしながら学校支援の活動を行っています。

心つながる応援活動

わが子が常盤中に通っていた時の温かい指導への感謝と、在学中の子どもたちが、穏やかで充実した学校生活を送るためにお手伝いをしたいと考え、応援活動を始めました。応援活動で一番大切にしていることは、相手の気持ちになって行動すること。団長として、皆さんに温かな気持ちで楽しく活動していただけるように工夫をしています。

子どもたち、教職員の方々、保護者、保護者OB、地域の方々、みんなの心がつながる応援活動を心掛けています。

協働の仕組み



地域資源がテーマ 郷土かるたで日本一をめざす

かつしか郷土かるた

学校でかるたの授業、
授業の後はみんなで
楽しくかるたとり！



小

・中学生から寄せられた
5379句の「ことば」を
もとに、平成24年に「かつしか
郷土かるた」が誕生しました。
きっかけは、かつしか区民大
学区民運営委員会懇親会で群
馬県出身委員の「上毛かるたの
ような郷土かるたを創ろう」の一
言でした。かつしか郷土かる
た制作委員会作業部会が子ど
もたちと一緒に創るという企画
を中心にかるた制作活動を展
開し、約2年間で完成しました。

かるたは葛飾区ゆかりの自
然・産業・歴史などを題材に、各
地域を紹介する44句に仕上がっ
ています。絵柄は世界的な切り



- ここが魅力！1
**かるた遊びを通じて
葛飾の素晴らしさを再確認**
- ここが魅力！2
**自然、産業、文化・歴史、人物など
地域性も配慮した44の題材**
- ここが魅力！3
全区競技大会を実施

絵画家・辰巳雅章氏が担当しま
した。
完成したかるたは、区内の小
学3年生全員に配布し、郷土愛
を育む学習に活用してもらう
ほか、かるたの競技大会を開催
して、今後さらに盛り上げてい
く予定です。関係者一同は、か
つしか郷土かるた全区大会の
発展に努め、日本一のかるた大
会をめざしています。

協働の仕組み

区

- 生涯学習課
 - ・「かつしか郷土かるた作り教室」の開催
 - ・「絵札」の作成依頼
 - ・「読み札」の募集
 - ・「かつしか郷土かるた」の制作

区民

- かつしか郷土かるた制作委員会
 - ・「かつしか郷土かるた作り教室」の企画・運営
 - ・「読み札」の選定・決定
 - ・地域別学習会等かるた作りに関わる学習会の開催
 - ・「かつしか郷土かるた」解説文の作成検討

問い合わせ <生涯学習課> 直通電話: 03-5654-8475

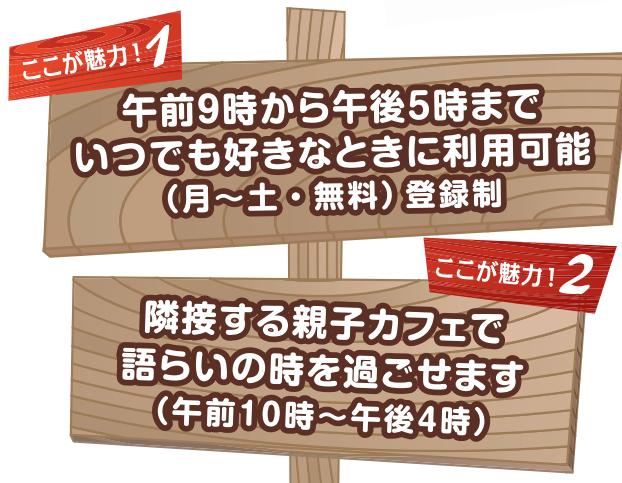
退職後の人材力を活かす
気がつけば一大事業に！

退職後のマイペース暮しに飽
きちゃってね。妻から区が募集し
ていた団塊世代の定年に備えた
「シニアのための社会参加セミ
ナー」への応募を勧められたのが、
その後、まるでレールを引かれ
たように、さまざまご縁に導
かれ、郷土かるたづくりに参画し、
ボランティア活動へのきっかけ。
これが共に活動してきた仲間の
力と、行政がいい形で組み合
わされたから。協働の成功例の一つ
だね。区が協働の布石のために
シニアセミナーを実施したこと
は先見の明だと感じています。

かつしか郷土かるた制作委員会 長田宏さん



たくさんのがんばりあい、育ちあう場に



協働の仕組み



問い合わせ <子ども家庭支援課> 直通電話: 03-3602-1386



保護者の世代も様々
親子コミュニティが広がります



子

育てひろば事業は、0～3歳のお子さんと保護者の方を対象に、親子で遊べる場、子育て中の親同士が仲間づくりや相談ができる場として開設されています。葛飾区では主に保育園内など30か所に設けられ、区民サポートによる、絵本の読み聞かせや手作りおもちゃの提供など、居心地のいい空間づくりが熱心に行われています。

その一つ「いろは」は区の施設「健康プラザかつしか」内にあります。広い窓から光がさす広々とした明るいスペースで、毎日40～80組の親子が訪れ、年

間の利用者数は3万5千人。日々の子どもたちの遊びが豊かになるように、親同士のつながりが互いのちからになるよう、丁寧な場づくりを心がけています。

季節の風を感じてほしい
開設から3年を数えたいろは、「いろはの「いろ」」は「個性」。いろはの「は」は「葉」。たくさんの個性が混ざり合い、育ち、会う場となるように。「葉」は地域に根を下ろす樹木をイメージしました。
地域の方々と共に子どもたちの成長を見守ってきました。
季節ごとの展示、年齢別の集い、音楽で祝うお誕生日会。「いろは」での時間が、かけがえのない子育ての1ページとなるようスタッフみんなで待っています。
(仁ノ平さん談)



仁ノ平則子さん(中央)とスタッフのみなさん
「いろは」運営:特定非営利活動法人ワーカーズコープ

会話を交え、みんなでわいわい！高齢者昼食会

ふれあい共食会 四つ木

楽しく食事とおしゃべり
認知症の予防にも



で健康を害し、豊かな老後を送
れていない方がいます。昼食会
は、自ら大病を経験して介護を
受けた経験を持つ副理事長が、
楽しく話しながら食べるこ
とで、高齢者の脳の活性化や認知
症予防をしたいと始まりまし
た。昼食会は、その志に賛同し
た仲間たちに支えられて続い
ています。

高齢者の中には、会話のない
食事や引きこもりがちな生活
には1時間近くかけて通つ
くる人もいるほどです。

高齢者の中には、会話のない
食事や引きこもりがちな生活
には1時間近くかけて通つ
くる人もいるほどです。

高齢者が地域で生きる
その見本をめざしたい

高齢者施設や病院では知ら
い者同士だから、食事の時に会
話が弾まないの。おしゃべりな僕
ですら次第に会話しなくなっ
てしまう。だから地縁つながりが
ある集まりが重要だよ。顔を合
わせれば「昨日、何したの？」と
話が始まり元気が出る。これは、
行政にはできない「隙間」の活動。
地域で生きるということは、こ
ういうことと確信してるし、見
本になればとも思う。

この活動は、看取りをどうす
るかまで続いていく。まだまだ
活動は広げていきますよ。



NPO法人 中・西会 副理事長
山口隆一郎さん

協働の仕組み



問い合わせ <高齢者支援課> 直通電話: 03-5654-8256

地域のボランティアが「高齢者の不安」を聴く

葛飾区シニア・ピア・傾聴ボランティア

ボランティアが
じっくりお話を聴きます



独感や不安、寂しさを癒やし和らげるお手伝いをしています。同じ地域で暮らすボランティアが担当するのが特徴です。4つの地区(センター・末広・亀有・新小岩)で活動し、今年で11年目です。超高齢社会を迎つつある中、傾聴ボランティアは、高齢者にとって住みよいまちづくりに欠かせない存在です。

傾 聽ボランティアとは、「方
が、悩みを持つお年寄りの話し
相手としてお話を聞く」活動で
す。家族と同居していても、世
代の違いがあれば、高齢者の悩
みを理解してもらえるとは限
りません。むしろ話が通じず、
よけいに孤独を感じている
ケースもあります。葛飾区シニ
ア・ピア・傾聴ボランティアの会
(通称「きかせて」)では、傾聴の
基本を学んだボランティアが、
外出が難しい高齢者のお宅や
地域にある交流館、特別養護老
人ホームなどに伺い、お話を
じっくり聴くことによって、孤

信頼結び、やりがいを
カウンセラーを経験してか
ら、傾聴ボランティアに参加し
ましたが、人の話を聴くことが
どれだけ大変かを知りました
ね。単にお茶飲み話の相手では
なく、悩みを持つお年寄りの心
に寄り添って、不安を軽くしな
がら、その人なりの判断や納得
を促す…やればやるほど自分に
返ってくるので、自分磨きです
よ。何回か訪問する中で、信頼
関係ができる「今度はいつ来て
くれるの? 楽しみにしている
よ」と言われると「この活動に参
加して本当に良かったな」とやり
がいを感じます。

葛飾区シニア・ピア・傾聴ボランティアの会
常田恵美子さん



協働の仕組み

●高齢者支援課

- ・傾聴ボランティア養成・活動支援
(養成講座は隔年実施
平成27年9月実施予定)

区

区民

●傾聴ボランティア

- ・交流館などの活動
・在宅訪問
・高齢者施設での活動

会場

- シニア活動支援センター(立石6-38-11)
- 亀有学び交流館(お花茶屋3-5-6)
- 末広憩い交流館(金町5-4-1)
- 新小岩北地区センター(東新小岩6-21-1)

※4か所とも曜日・時間を決めて活動中(月1~2回)

問い合わせ <高齢者支援課> 直通電話: 03-5654-8256

立って♪座って♪ 区歌に合わせた健康体操

協働事例



かつしかはつらつ体操は、平成20年12月に区の認定を受け、検定試験で合格した人がリーダーとなって普及し、現在、区内8カ所のラジオ体操会場などで定期的に行われています。また、区内のいくつかの銭湯では、「ふれあい銭湯事業」として月に一度開店前に、かつしかはつらつ体操を行っています。

考案したのは、葛飾区健康づくり推進員の皆さん、健康づくりに高い関心をもって地域活動をしてきた人たちです。平成17年頃、体操を作ろうという話になり、みんなのアイデアを持ち寄って、保健所の協力のもと完成しました。「椅子バージョン」があるのは、腰や膝が痛い高齢者を配慮したことです。

つかはつらつ体操は、区民の健康寿命を延ばすため、区歌に合わせて行う体操です。立って行う「立ちバージョン」と座って行う「椅子バージョン」があります。

つかはつらつ体操は、区民の健康寿命を延ばすため、区歌に合わせて行う体操です。立って行う「立ちバージョン」と座って行う「椅子バージョン」があります。

かつしかはつらつ体操



私は働き盛りに病気をして、体操を毎日することで健康を取り戻したから、その良さを知っています。だから、かつしかはつらつ体操も披露する機会があればご指導させていただいています。区歌は昭和26年にできて、歌詞が良いんですよ。歌いながら体操するとすっきりします。参加者の皆さんのが楽しんでくれると嬉しくなり、逆に元気をもらいう感じです。

協働の仕組み



問い合わせ <健康づくり課> 直通電話: 03-3602-1268

葛飾区健康づくり推進協議会 会長
霜田實さん

元気な高齢者が、フィット・ネスで運動習慣を!

運動習慣推進プラチナ・フィットネス



高齢者の健康を体力と興味に合わせたプログラムで支援

区は、65歳以上の区民を対象に、運動に取り組むきっかけづくりとしてフィットネスクラブとの協働による運動の習慣化事業を行っています。高齢者が身体を動かすことを日常化し、住み慣れた地域で自立した生活が長く送れることを目的としています。

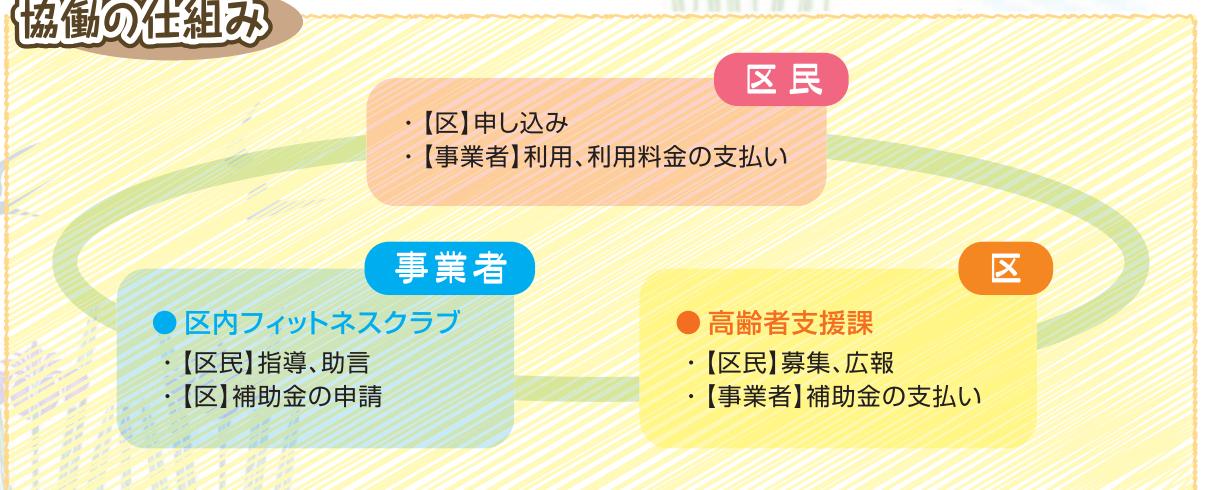
フィットネスクラブのひとつであるルネサンス青砥では、高齢者の認知機能低下予防のために、シナプソロジーという「身体の左右で違う動きをする」など普段慣れない動きで脳に適度な刺激を与えることにも、取り組んでいます。

また、運動メニューの約8割が初心者向けに作られており、運動が苦手な高齢者でも気楽に参加できます。

この事業は、区内8か所(平成26年度現在)のフィットネスクラブで実施されており、これまでに約900人の高齢者が参加、その6割近くが継続的にフィットネスに通うなど、日常的に運動をする習慣が着実に根付いています。



協働の仕組み



問い合わせ <高齢者支援課> 直通電話: 03-5654-8256

**地域の健康促進に
自治体・民間一体で貢献**
地域の健康を促進し、「元気にしていくことは、自治体であっても、われわれ民間であっても、目的は同じです。だから力を合わせてやつていかないともつたいない。自治体だからできること、民間だからできること、そこを融合させていくことで、最終的には、葛飾を取り巻く問題は、フィットネスクラブで解決できるものが幅広くあるんですね。この事業を通じてみんなが元気になっていくことに貢献できる、ということが一番大事かなと思います。

スポーツクラブ ルネサンス青砥 支配人
丸尾和久さん



まちぐるみで健康な食事をサポート

「かつしかの元気食堂」推進事業



「かつしか知つ得メモ」をお店へ届ける食育ボランティア



東京聖栄大学がレシピを開発したヘルシーメニュー集

「かつしかの元気食堂」推進事業は、働き盛りの方や高齢者の方が外食する際に健康に良い食事がとれるように、区内飲食店のメニューを、栄養バランスの整ったメニューに近づけようと働きかけて改善していく取り組みです。東京聖栄大学、区内飲食店や食育ボランティアの皆さん、保健所が協働して活動しています。

栄養バランスの整った食事と健康情報の提供や、健康のために食事の量・味付けなどが選択できる飲食店を「かつし

かの元気食堂」として認定する制度を設けました。実施するサービスの種類によって「かつしかの元きがでる食堂」と「わたしの街のえらべる食堂」があります。現在、区役所の食堂をはじめ10店舗が「かつしかの元気食堂」に認定されています。

「かつしかの元き食堂」は7店舗でスタートしましたが、区全体に広めるのが目標です。取り組むお店が負担にならないよう工夫していますが、以前より手間がかかって大変なのは事実です。それだけに、お客様が遠くから来てくれるようになった、新しいお客様が増えたという話をお店から聞く嬉しくなります。

いかに継続していくかが大事なので、多くの方を巻き込んで、「かつしかの元き食堂」を盛り上げていきたいです。



東京聖栄大学 健康栄養学部 准教授
管理栄養士 佐川敦子さん



かつしかの元きがでる食堂

健康的な食事として、1食分で主食・主菜・副菜が揃っているメニューで、主菜・副菜400~500kcal、塩分3.3g以下、野菜120g以上の「元きがでるメニュー」があります。副菜やご飯の量が選べるなど、「選べるサービス」も8つ以上。自動血圧計などの健康器具と栄養相談ができるコーナーも設置。

わたしの街のえらべる食堂

東京聖栄大学がアドバイスした「バランスメニュー」を提供。「選べるサービス」は2つ以上。栄養に関する月替わり情報「かつしか知つ得メモ」が掲示されています。

元き食堂でウェイトコントロール!

東京聖栄大学の管理栄養士のアドバイスのもと、元き食堂で食事しながらウェイトコントロールに挑戦できます。栄養相談コースの利用者で、5か月間で約7キロ減量できた人もいます。

かつしかの元き食堂」として認定する制度を設けました。実施するサービスの種類によって「かつしかの元きがでる食堂」と「わたしの街のえらべる食堂」があります。現在、区役所の食堂をはじめ10店舗が「かつしかの元き食堂」に認定されています。

協働の仕組み

区

- 健康づくり課
 - ・元き食堂の認定・登録
 - ・事業の企画・立案・PR
 - ・飲食店との連携・調整

区民

- 食育ボランティア
 - ・「かつしか知つ得メモ」の配布など
- 区内飲食店・飲食店組合など
 - ・活動への協力、アドバイスなど

●東京聖栄大学

- ・メニュー開発・カロリー計算、健康情報の提供・栄養相談など

障害のある方が、気軽に立ち寄れる『たまり場』

障害者自立支援事業



「障

害のある人もない人も、人として出会い、知り合い、語り合い、励まし合う、そんな当たり前の空間を身近なところにつくりたい」という願いから始まった活動です。

区内の障害者施設で作っているパンやお菓子、アクセサリーなどを販売している販売所「+Choice(プラスちょいす)」は平成20年7月にオープンし、翌年には、閉店後の時間を利用して「障害者自立支援事業」を区との協働で始めました。18時から2時間を、障害のある方が気軽に集える“たまり場”として開放しています。お茶などを飲

みながら、会話を楽しんだり、職場での悩みなどを相談できるよう、NPO法人未来空間ぽむぽむのスタッフがサポートしています。+Choiceでは、ペン習字やカラオケ、クリスマス会など、障害者自身の自主性を尊重して楽しめるさまざまなイベントを行っています。

特定非営利活動法人

- NPO法人 未来空間ぽむぽむ
 - ・支援者の手配
 - ・情報の収集と整理
 - ・具体的な計画作り
 - ・計画の実行への支援

自宅と職場の往復だけの生活でストレスがたまる、職場の人間関係で悩んでいる…といったことは、障害の有無にかかわらず、誰にでもあることではないでしょ？。こんな時は「+Choice(プラスちょいす)」に寄つて、お茶でも飲んでホットでいいませんか？ここは、共につくつろげる仲間や支援者がいる場所なんですね。さまざまなお活動であります。強制するようなことはありません。好きな時に、好きなように過ごしていただける「居場所」としてご利用ください。

NPO法人 未来空間ぽむぽむ 理事長
佐和佳江さん



協働の仕組み

区

● 障害福祉課

- ・事業費に係る経費の一部負担
- ・広報誌、ホームページ掲載

問い合わせ <障害福祉課> 直通電話: 03-5654-8262

NPO法人 未来空間ぽむぽむ 葛飾区青戸 5-2-9-103 電話: 03-3604-7596

花と緑がいっぱい

花いっぱいのまちづくり

みんなが憩えるまちづくり

千葉大学の先生を招いて
花壇づくりの講座

緑化活動の団体数は、現在 30 団体
いろいろなところで
緑化活動を行っています

身

近な緑を増やし、まちの
景観を美しくしよう—
公共性の高い場所などで緑化
活動を行う団体に、区は花の苗
などの配布を行っています。

北野小学校地域応援団は、小
学校のすぐそばの金町公園に花
を植え、花壇管理をしていま
す。以前の金町公園は、落書き
がされており、「子どもを犯罪
から守る」まちづくり活動でも
子どもたちが怖い目に遭う事例
のあがる公園でした。そこで子
どもたちの防犯対策の一環とし
て、PTA の皆さんも参加して
花いっぱいの公園にしました。
花壇づくりや公園の安全につ

3年前、北野小学校の展覧会
で配ったヒマワリの種を、お孫さ
んの展覧会にいらした祖父母の
方が持ち帰られ、その種が北
海道で元気に育ちました。今年
その種が帰ってきて、今度は金
町でそのヒマワリが夏に咲く予
定なんです。こんなふうに付き
合いが広がるなんて思いもしな
かった。楽しいです。花壇の手
入れは苦労も多いけれど、花が
あることで公園が憩いの場とな
り、みんなの笑顔が見られる素
敵なまちになっていくといいな
あ。皆さん、近くまで来たら
ぜひ寄つて行ってください。



ここが魅力！1

千葉大学の渡辺先生による
花壇づくり講座開催
金町公園・生涯学習課
「みんなで学ぼう！花壇づくり講座」

ここが魅力！2

季節ごとに工夫を凝らした
花壇づくりを楽しんでいます

協働の仕組み

区

- 公園課
 - ・公園の使用
 - ・種、資材の提供
- 生涯学習課・環境課
 - ・「みんなで学ぼう！
花壇づくり講座」の開催

区民

- 北野小学校地域応援団
 - ・花壇の手入れ
 - ・スキルアップ
(「子どもを犯罪から守る」
まちづくり活動の一環として)

問い合わせ

公園については<公園課> 直通電話: 03-3693-1777
講座については<生涯学習課> 直通電話: 03-5654-8479
花いっぱいのまちづくりについては <環境課> 直通電話: 03-5654-8239

(左) 北野小学校地域応援団 橋口久美子さん
(中央) 事務局長 沢崎俊之さん
(右) 長栄由紀子さん



美しい・泳げる川を取り戻そう

葛飾の川をきれいにする取り組み

葛

飾には荒川・綾瀬川・江戸川・中川・新中川・大場川

美しい川を実現するため、環境保全団体、NPO、個人の方と区は協働で、河川環境を良くする取り組みを行っています。

「葛飾の川をきれいにする会」は、現在会員数が、地元有志企業を含めて約200人。水質調査をはじめ、河川に親しむための観察会やイベント、河川美化活動などを行っています。最近では、川底を観察するカメラ「葛飾つ子1号」を開発。これは日本海溝8000m、超深海の

水質について学ぶ楽しいイベントも！

子どものころは、川で泳げたんですよ。それが、高度成長期の昭和40年代、葛飾の中心を流れる中川は悪臭を放ち、大変汚れてしまいました。当会は昭和48年に活動を開始、かつて死んだようであった川は、今では魚が泳ぎ、水鳥が飛んでくる川によみがえりつつあります。最終的には葛飾の川を「泳げる川」にすることをめざしているんです。小中学校の出前授業では、水質検査を体験してもらっています。環境について、楽しみながら知ることはとても重要なですね。（齊藤さん談）



(左) 葛飾の川をきれいにする会 会長 齊藤徳好さん
(右) 副会長 鳥海道勝さん



**区内の小中学校で出前授業も！
毎年7校前後で実施**

ここが魅力！1

**川底探査カメラ「葛飾つ子1号」
を開発・観察データは区に提供
するなどして活用**

ここが魅力！2

無人探査機「江戸つ子1号」を作成した杉野行雄さんの手によるものです。

今年は中川を中心いて水中を撮影し、生息する魚の種類や汚染の度合いを調査する予定です。



自分たちの森づくりを、思い出の学校で実現

松南の森プロジェクト

新小岩

新



小岩南地域まちづくり協議会では、平成23年度から2年間、区と協働でワークショップを開催し、プロジェクトのプランをまとめ、『松南バル』と愛称で呼ばれる旧松南小学校の敷地内に、周辺区民と共に“自分たちの森”を作りました。子どもたちが自然と触れ合い、地域のさまざまなグループがイベント会場にしたり、地元の交流を深めようというコミュニティ・プロジェクトです。

松南の森には約300種類以上の植物や草花が植えられており、新小岩南地域まちづくり協議会のメンバーが中心となつて、種植えや水やり・草取りなどの手入れをし、花いっぱいのまちづくりを行っています。収穫したハーブによるお茶会や、クリスマスリースを作るなどのイベントを毎月1回開き、みんなが楽しく参加できる活動を行っています。

自分たちで何でもやろう！
森づくりを楽しんでます

『松南バル』は僕が卒業した学校です。近ごろは緑が少なくなってね、子どもたちからも新小岩はなぜ緑と花が少ないのって声があつたのが活動を始めるきっかけです。資金も自分たちで集めようと「緑の環境デザイン賞」に応募したら、なんと「緑化大賞」。はずみがついたよね。今では草取りに、新小岩の6つの自治会長さんたちが参加してくれるし、保育園の子どもたちと若いお母さん方も遊びに来てくれて、将来はこの子たちが続けてくれるかなと思うと、やりがいを感じますよ。



新小岩南地域まちづくり協議会 事務局次長
伊藤雅良さん



協働の仕組み

区

- 環境課
 - ・花苗や苗木など、資材の提供
- 施設課
 - ・学校敷地の使用
- 生涯学習課
 - ・緑化専門員派遣
 - ・勉強のサポート

団体

- 新小岩南地域まちづくり協議会
 - ・森の手入れ
 - ・イベントの企画・運営
 - ・プロジェクト管理



近所で自主的な資源のリサイクルを!

資源の集団回収



協働の仕組み



問い合わせ <清掃事務所> 直通電話: 03 - 3693 - 6113

7年前から再開
集団回収がふれあいの場に
「トイレットペーパーの芯、リサイクルしたら何本の樹木が節約できるか知っていますか?」昔、講演で聞いた言葉が忘れられず常に心にひつかかっていたの。30年くらい前は子ども会でやつてたんだけど、みんな忙しくなって中止しちゃってた。岩本さんが言いましたしねで、7年前から自治町会で再開してがんばっています。働き盛りの若い人たちには仕事優先で出てこれないよ、自分もそうだった。今はご近所さんとのふれあいのためにやってる。顔見知りになっておけば、何かと安心だからね。(大川さん談)

(左) 浮洲文化会(自治町会) 大川庄次郎さん

(右) 岩本孝雄さん



葛

飾区の資源回収のうち4割を占めているのが、住民の自主的なリサイクル活動の「集団回収」です。葛飾区では、行政による集積所での資源回収を平成11年から開始しましたが、集団回収は戦後から盛んに行われてきました。

集団回収では、各家庭から出る古紙・缶・布類・びんの資源をご近所同士で集め、自分たちで契約した民間の回収業者に引き渡します。回収日や回収場所などは、自治町会や子ども会が主体的に決定し、資源の売却などで得られた資金は、地域のイベント活動などに活用されています。

れています。

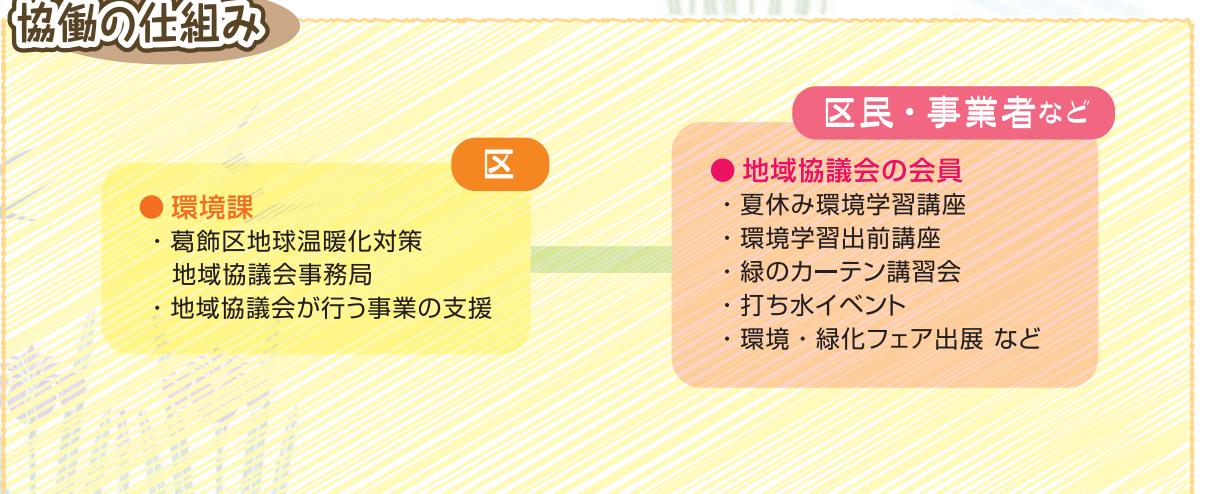
集団回収は、リサイクル意識の向上、地域コミュニケーションの活性化だけでなく、悪質業者による資源の持去り対策としても有効です。区は10世帯以上で登録した集団回収実践団体に報奨金を支給するなど、活動を奨励しています。

「リカちゃんたちが、打ち水でエコ活動！」

葛飾区地球温暖化対策地域協議会



協働の仕組み



問い合わせ <環境課> 直通電話: 03-5654-8228

みんなで力を合わせて、日常生活の中で温暖化防止の取り組みを行う組織として、葛飾区地球温暖化対策地域協議会があります。区内の事業者や地域団体の方々が会員です。中でも玩具メーカーのタカラトミーは、電力需要の多い夏に節電に取り組むため、自社のキャラクター・リカちゃんが参加する打ち水活動を、区役所やタカラトミー本社前、立石のお祭り・立石フェスタで毎年行っています。

立石フェスタでは、サンバパレードが涼しく踊れるように

と、「かつしか打ち水作戦」とい

う名称で平成22年から始めました。葛飾区「み減量・3R推進キャラクターの「リー(Ree)ちゃん」、東京消防庁マスコットキャラクターの「キュータ君」、そしてタカラトミーの「リカちゃん」が、多くの子どもたちと一緒に打ち水を行い、楽しく環境活動に励んでいます。

おもちゃ会社だからできる」ことを地域でできる」とを地域で

ご存知の通りタカラトミーは、おもちゃの会社です。おもちゃを通してさまざまな方に夢を提供していくことが私たちの使命だと感じています。同時に、豊かな未来ということを考えたとき、環境問題は避けては通れない課題です。立石フェスタには、地域の一員として参加させていただいています。「リカちゃん」が一緒に打ち水することで、子どもたちが環境について考えきっかけになればと思っています。年々活動を共にしてくださる方が増えていくんですね。これもまた嬉しいことですね。

株式会社タカラトミー 社長室 環境課 係長 長野紫穂さん



地域の課題を解消、生活密着型のまちづくり

まちづくり懇談会



「健康料理教室」は
みんなでわきあいあいと!
健康部会

「ま」ちづくり懇談会」は区内
7つの地区で組織され、
意見交換や情報共有をしながら、
地域の特性に合わせた住み
よいまちづくりを推進するための取り組みを行っています。

南綾瀬地区まちづくり懇談会では、ふれあい大運動会、防災訓練、南綾瀬地区クリーン作戦など、年間を通して活発な活動が行われています。特に、女性だけで構成されている「南綾瀬レディースクラブ部」の活動は盛んです。会員は現在40名前後、「環境・美化」、「安全・防災」、「文化・教育」、「健康」という四つの部会が設けられ、女性なら

活動のきっかけは、20年前に、「ゴミの出し方が汚いな」とて思ったことなんです。そこから、ゴミをちゃんと出そう、分別も、リサイクルも…って、どんどん活動が広がり、今に至ります。
女性だけの組織ですから、生活に密着した活動をすることはもちろん、子育ての悩みだったり、時には旦那様のグチを聞くこともあります(笑)。でも、それでいいと思ってるんです。負担を感じない程度に楽しみながらやる。そして、人の輪を広げていく。それが活動を続けていくコツじゃないでしょうか。



南綾瀬レディースクラブ部 環境美化部会長
福中貞子さん

ではのきめ細やかな視点で、地域に根差した活動を行っています。地区センターまつりでは、各部会が事業を行い、環境・美化部会の工芸作品の制作コーナーなどが大変好評です。また、フリーマーケットも開催しリサイクル活動の啓発を行っています。

- まちづくり懇談会
自治町会、青少年育成地区委員会
高齢者クラブ、小中学校 PTA
商店街 など
- ・ 懇談会開催
・ 地域ごとの各活動

区民

区

- 地域振興課
・ 支援

協働の仕組み

地場産業が集結！子どもたちも体験／産業教育

協働事例

会場は大盛況
年々規模が拡大！

葛飾区産業フェア



ねじ作り体験をする
子どもたち

子どもから大人まで、幅広い層が集まる「葛飾区産業フェア」は、毎年秋に産業施設「テクノプラザかつしか」で、約480社が参加して6日間開催されています。前半3日間は工業・商業・観光展、後半3日間は農業・伝統産業展で、区内産業に対する理解を深めてもらうことが目的です。

大きな特徴は、子どもたちの産業学習のために、を合言葉に、地場産業などの団体が団結して、子どもたちが楽しく学べる説明ブースを設けていることです。葛飾区ねじ連合会のブースでは、ねじ作り体験ができた

子どもたちの教育目的で
参加企業が増えました

30年前の産業フェア立上げの時、参加企業が集まらないと区から相談されてね。一週間悩んでひらめいたのが、子供たちの教育目的にしたらみんな喜んで参加するだろうと。その狙いが大成功。さらに実行委員長は、毎年交替すると決めた。これは、新しい人に替わることに、その人との価値観が反映され、必ず取り組みが広がるからです。

私はもう90歳で運営委員長を引退しますが、産業フェアがますます発展し100人の実行委員長が出るのを楽しみにしています。



(左) 葛飾区産業フェア運営委員会 名誉顧問 信川仁道さん
(右) 平成27年度 運営委員長 浅川弘人さん

ここが魅力！1
産業教育がテーマの
産業フェアは葛飾だけ

ここが魅力！2
区内産業を
「見て」、「触れて」、「楽しめる」
企画が盛りだくさん

ここが魅力！3
実行委員長は毎年交代
新鮮な企画で発展が続く



平成26年には30回を記念して、新しくできた東京理科大学葛飾キャンパスで開催し、入場者数は過去最多の12万人に上りました。毎年規模が少しづつ拡大しており、葛飾区の協働を象徴する事業となっています。

協働の仕組み

区

- 商工振興課
 - ・運営委員会、実行委員会の事務局として企画、運営のとりまとめ
 - ・広報、会場設営

- 東京商工会議所葛飾支部
- 工業、商業、観光、農業
伝統産業関係団体
 - ・来場者を楽しませる出展ブースの運営、会場整理
 - ・廉価での販売、景品の提供

区内産業団体

区民

- 区内幼稚園、小中学校、高校
 - ・作品展示やステージでの演奏、ダンスなどでイベントを盛り上げる

錦絵にも描かれた2百種の花菖蒲が競演

葛飾菖蒲まつり

堀切菖蒲園会場



「十」二単衣」「醉美人」など希少な花菖蒲の品種が多く、全国から愛好家が来場する「堀切菖蒲園」。江戸時代には歌川広重、鈴木春信など著名な絵師が浮世絵に描いたほど、古くから愛されてきました。毎年5月下旬から6月にかけて約200種60000株の花菖蒲が次から次へと咲き、菖蒲まつりが開催されます。

多くの方が参加している堀切かつしか菖蒲まつり運営協議会は、今年で36回目(平成27年の菖蒲まつりを盛り上げるため、さまざまな行事を企画しています。太鼓や琴の演奏や

がんばっています
堀切は温かい人が多いのです。自分一人の力ではなく、大勢の人の協力があってこそ、菖蒲まつりがうまく運営できています。協議会なので、みんなで話合いながら、スクラムを組んで作り上げていくという感じだね。まつりは毎年楽しみに来てくれる人が多いから、常に趣向を変えて、いろいろな人に喜んでもらえるよう、がんばっているんだよ。一人でもたくさんの人々来てもらつて、まちの発展につながるような、素晴らしいイベントにしたいね。



ここが魅力!1

江戸時代から続く花菖蒲の名園
全国の花菖蒲愛好家にも評判

商店街活性化にも貢献
ホームページで開花状況や
周辺の飲食店などの情報を発信
(月約3万件のアクセス)
ほりきり発見伝
<http://www.horikiri-s.com/>



縁日、チャリティバザーに葛飾元気野菜即売会と内容が盛りだくさんです。3年前から始めて大好評なのが、子どもたちが描いた

12基の灯籠を飾つての夜間のライトアップ。お祭りムードが最高潮に達します。

協働の仕組み

観光課

- ・会場設営
- ・広報支援
- ・会場警備委託
- ・かつしか菖蒲めぐりバスの運行委託
- ・堀切橋車両広場の平日開設

公園課

- ・菖蒲の手入れ

堀切かつしか菖蒲まつり運営協議会

- ・会場の整理
- ・イベントの企画
- ・堀切水辺公園第2菖蒲園の手入れ

構成団体：(社)葛飾区観光協会堀切支部
堀切自治町会連合会
堀切地域各商店街
青少年育成堀切地区委員会

区

警察

- ・道路規制
- ・警備警戒

消防・消防団

- ・防災協力
- ・会場警戒

1万4千株の花菖蒲が異次元空間を演出

葛飾菖蒲まつり

都立水元公園会場



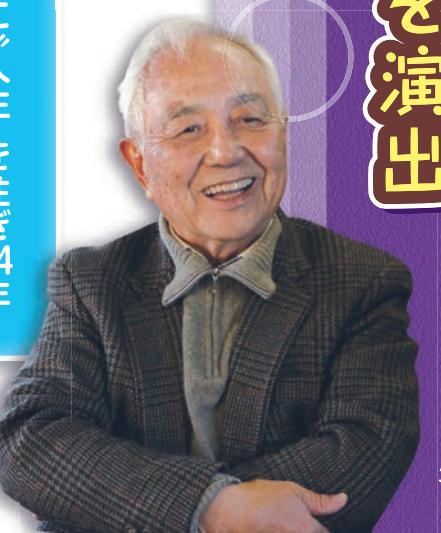
葛 飾菖蒲まつりの2大会場のひとつ、都立水元公園は、都内で唯一水郷の景観をもった公園です。6月になると園内の約9千平米の広さに渡って花菖蒲がズラリ、1万4千株が咲き誇り、来場者を圧倒します。

多くの方が参加する、水元公園菖蒲まつり実行委員会では、菖蒲まつりを盛り上げるため、民謡パレードやしおぶ太鼓の踊り、地元の子どもたちによる吹奏楽の演奏会や、チャリティーカラオケ大会などの行事イベントを企画し、運営しています。

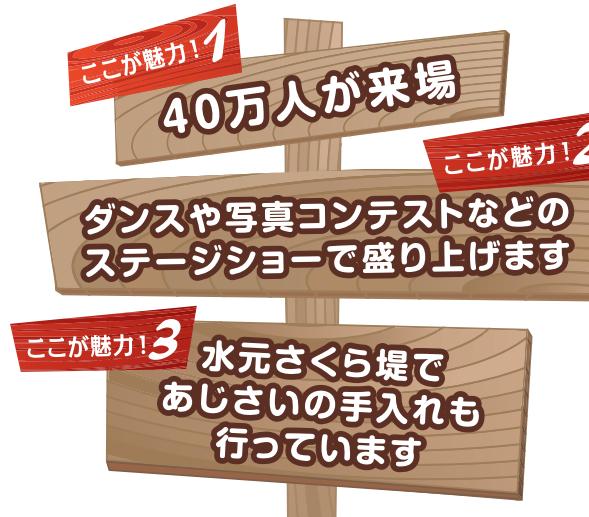
菖蒲に「人生」を注ぎ34年若い来場者が増え活気

34年前の第一回から運営に携わり、菖蒲に「人生」を注いでいます。まつりのことは隅から隅まで知っているよ。2年前に東京理科大のキャンパスが近くにできて、学生さんたちなど、若い世代の来場者も増えたんだ。幅広い年齢層が来るようになってきたのが嬉しいよ。やっぱり、若い人たちが集まるとまちが元気になっていくよね。

水元公園でしか味わえないダイナミックな風景と、私たちのおまつりの親しみやすい面白さを思う存分感じて、楽しんで帰つてもらいたいね。



水元公園菖蒲まつり実行委員会 実行委員長
穴澤邦明さん



協働の仕組み

- 観光課
 - ・会場設営
 - ・広報支援
 - ・かつしか菖蒲めぐりバスの運行委託

水元公園菖蒲まつり実行委員会

- ・菖蒲の手入れ
- ・会場の整理
- ・イベント企画

構成団体：(社)葛飾区観光協会水元支部
水元自治町会連合会
水元・金町地域各商店街
青少年育成水元地区委員会

区

- ・道路規制
- ・警備警戒

- ・防災協力
- ・会場警戒

大人気「こち亀」銅像めぐりに、外国人観光客続々

亀有地区商店街協議会

亀有



「こち亀」とは
地元出身の秋本治氏の漫画
「こちら葛飾区亀有公園前派出所」。
昭和51年から週刊少年ジャンプ
(集英社)に連続掲載中。

こち亀銅像リスト一覧
こち亀グッズの紹介は
<http://youroad.com/>

人

氣漫畫「こちら葛飾区亀有公園前派出所」にちなんだままおこしが好調な亀有地区商店街協議会。当初は「こち亀」ファンが亀有に来ても、何もないと言う声を受け、主人公の名をつけた「両さんどら焼」の販売からスタートしました。さらに、漫畫「ゲゲゲの鬼太郎」でまちおこしをした境港市(鳥取)に負けるな!と亀有でも、平成18年から主人公の銅像を建て始め、現在は14体を建立、亀有をぐるりと周遊できるようになりました。

協議会は、大型店、神社、公共交通機関、区などと協働し、

みんな顔見知りだから面白いイベントで更に活性化漫画家の秋本治さんは、亀有の出身だから、とても身近な存在なの。亀有地区の7つの商店街だって、みんなお互いに顔見知りだから、いざとなつたら連帯して話が進むんだ。それが亀有の強みだね。

企業城下町だった昔は買い物客でいっぱいだった。企業が撤退し大型店ができる、何もしなければダメになるだけ。銅像建てましただけじゃ飽きられてしまうから、毎年面白いイベントを続けていくことが大事。今年もみんなで企画していますよ。(仲林さん談)



(左)亀有地区商店街協議会 会長 仲林和夫さん
(右)事業部長 佐藤尚吾さん



“こち亀”によるまちの活性化を進め、大型店進出などによる商店街の危機も乗り越えました。

アニメ「こちら葛飾区亀有公園前派出所」は、海外でも放送され、外人観光客が増え、英語・中国語版の“周遊マップ”を配布するなど今後の集客に向けた活動にも力を入れています。



協働の仕組み



問い合わせ <商工振興課> 直通電話:03-3838-5559

新規バス路線で、高齢者や地域の「足」を助ける

バス社会実験運行



© 秋元治・アトリエびーだま / 集英社

京成バスと京成タウンバスの
路線をつないだ
バス社会実験運行

- | | | |
|----------------------|------------|-------------|
| 1 金町駅 | 8 鎌倉小学校 | 15 奥戸小学校 |
| 2 金町三丁目 | 9 鎌倉町 | 16 スポーツセンター |
| 3 净水場 | 10 京成小岩駅入口 | 17 奥戸三丁目 |
| 4 柴又帝釈天 | 11 鎌倉一丁目 | 18 五丁目住宅 |
| 5 柴又六丁目 | 12 細田四丁目 | 19 奥戸四丁目 |
| 6 柴又小学校 | 13 細田三丁目 | 20 東新小岩六丁目 |
| 7 新柴又駅 | 14 細田踏切 | 21 上平井中学校 |
| 22 東新小岩五丁目 | | |
| 23 翼橋
金町駅方向のみ | | |
| 24 新小岩駅北口
金町駅方面のみ | | |
| 25 新小岩駅 | | |



に運行しています。利用者へのアンケートでは「平日も走って欲しい」などと好評です。

この試みを通して、利用者の需要や動向を把握し、本格運行に向けた検討をしていく予定です。また、ラッピングバスや季節限定の「菖蒲めぐりバス」など、バスを利用する方に、より楽しんでもらうサービスを取り組んでいます。

協働の仕組み

区

- 街づくり調整課
 - ・社会実験に係る経費の一部助成
- 観光課
 - ・キャラクター活用事業

事業者

- 京成バス株式会社
 - ・社会実験運行
 - ・ラッピングバス
 - ・菖蒲めぐりバスの運行
- 京成タウンバス株式会社
 - ・社会実験運行
 - ・ラッピングバス

問い合わせ 社会実験について <街づくり調整課> 直通電話：03-5654-8397
ラッピングバスなどについて <観光課> 直通電話：03-3838-5558

葛

飾区の鉄道は、東西方向にはJR常磐線、JR総武線、京成線2か所、北総線などがありますが、南北方向は京成線の一部があるだけです。葛飾区内のバス路線網は、この鉄道が不足している南北の交通を補完する形で発展してきました。区は、南北方向の利便性をさらに高めるため、京成バス、京成タウンバスと協働して、平成26年6月から平成27年3月まで、新小岩駅（南口）と金町駅（南口）をつなぐバスを期間限定で運行する社会実験を実施しています。約30分間隔で、1日24往復、土・日・祝日

バス路線を増やすことには、さまざまな制約や困難があります。バスの運行管理や安全上の問題はないかなどの精査が必要です。停留所の新設についても、標識が邪魔にならないか、乗降目があります。それでも区民の方に、移動がしやすくなったり、便利になったと言つていただけるなら、これ以上の喜びはありません。最近ではラッピングバスなども活用して、より親しんできます。（坂本さん談）



(中央)京成バス株式会社 営業部 乗合営業課長 坂本幸裕さん
(右)乗合営業課 主任 福士貴大さん
(左)京成タウンバス株式会社 営業部 業務課長 吉田正さん

『美食伝説』はじまる！地元の味覚を大アピール

かつしかフードフェスタ2014



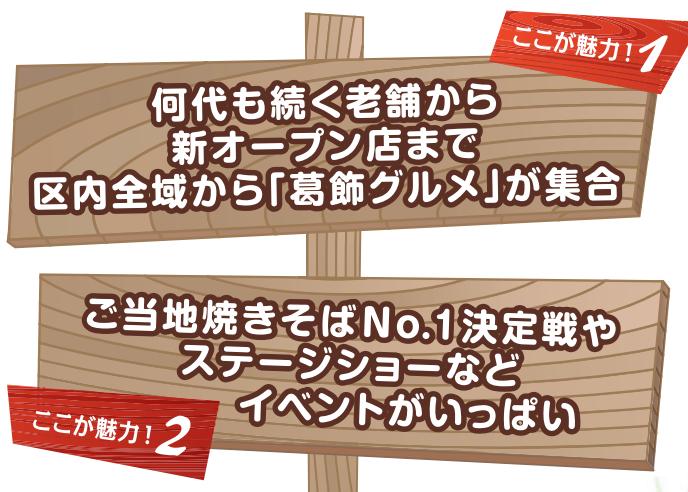
ショートアニメ「野良スコ」コタロー
© 野良スコプロジェクト 2014



22日は3万2000人、23日は
3万9000人の方が会場を訪れ、
イベントは大盛況でした



※各料理の写真はイメージです。



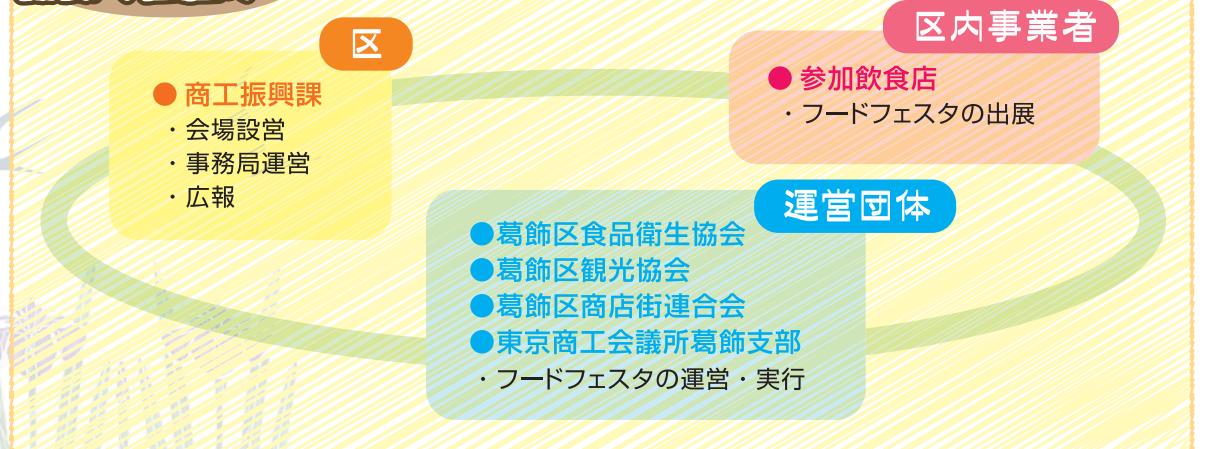
A 東京スマイルらが共同でステージでのショーを盛り上げ、家族連れがレジャーシートを持参し、公園内で陣取り合戦を繰り広げる姿も見受けられました。2日間で区内から約7万1000人が来場、葛飾区の新たなイベントの誕生です。

F フードフェスタで葛飾を盛り上げよう！葛飾区初のフードイベントとして、平成26年11月22日・23日に、JR新小岩駅北口近くの新小岩公園で開催されました。ラーメンや和洋菓子など、区内のバラエティに富んだ飲食店43店が、いちおし商品を目玉として販売、葛飾区の食文化をアピールしました。イベントのテーマは「Re-visit（リビジット）」。お客さんが再び区内の飲食店へ來たくなるようにとの願いが込められています。

地元のラジオ局・FMかつしかとお笑い芸人の吉本興業、J

とにかくこんなにお客さんがくるのかとビックリした。売り切れ続出で品物が追い付かない。初回は43店舗だったけれど、次回は出店希望者が殺到するんじゃないかな。テーマの「リビジット」も効果あつたみたい。出店者から、フェスタで食べたからまた来たよって、お客様が増えたって聞いています。次回も、これぞ「かつしか」といった品物を十分に用意して、お客様と一緒になって、葛飾を盛り上げていきたいですね。

協働の仕組み



問い合わせ <商工振興課> 直通電話: 03-3838-5559

葛飾区フードフェスタ実行委員会 実行委員長
染谷光雄さん



感動日本一の心意気で! 葛飾納涼花火大会

葛飾納涼花火大会

葛飾柴又野球場

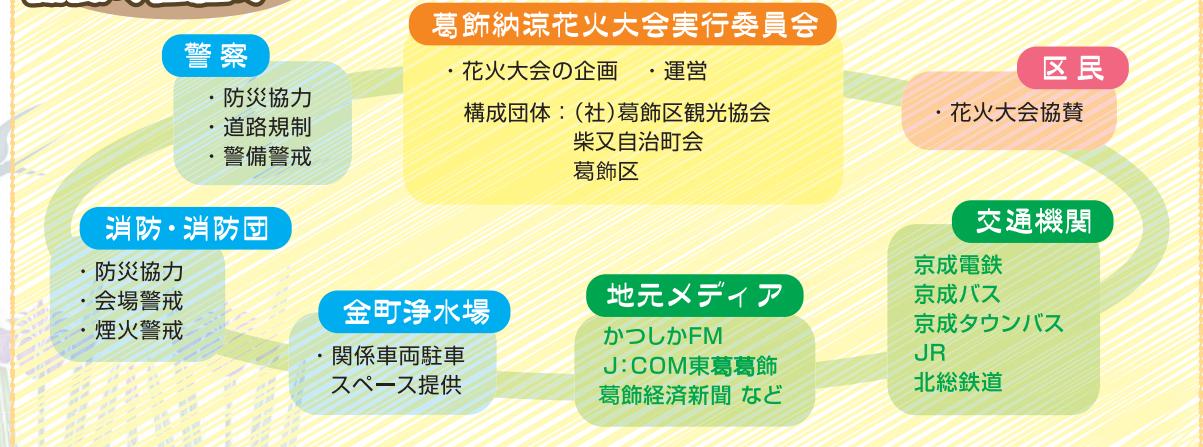


ここが魅力! 1
毎年新しい趣向!
流行・時事を反映した花火や
日本最古の花火「和火」など

ここが魅力! 2
お腹に伝わる花火音と
他では味わえない
迫力の臨場感!!

の協力で宣伝や情報発信に力を
入れています。

協働の仕組み



問い合わせ <観光課> 直通電話: 03-3838-5558

来年は50回目
楽しみにしてください
「花火は葛飾に限る」という思
い入れの強い人たちが見に来る
から、その期待に応えようと必
死だね。お客様の「ああ、良かつ
た」という声が最高の幸せ。毎
年毎年が勝負だよ。今、流行の
キヤラクター花火を始めたのも、
葛飾が先駆けだと思うよ。年配
者だけではなく子どもさんにも
楽しんでもらおうと考えたんだ
よ。でも基本はわび・さび、見た
人ならわかるよ。
平成28年は、節目の50回大会。
ああしよう、こうしようとアイ
ディアは尽きないね。楽しみに
待つてください。

葛飾納涼花火大会実行委員会 実行委員長
齊藤勝治さん

- 1 講座を選ぶ** 講座一覧よりご希望の講座をお選びください。

- 2 講座の担当課に連絡する** 受講希望日の20日前までに、講座の担当課にて連絡ください。なお、日時は調整が必要な場合がありますので受講希望日を3日程度お伝えください。

- 3 講座の担当課に申込書を出す** 受講希望日を確認後、講座の担当課へ所定の申込書をご提出ください。

- 4 出前講座実施** 区職員が会場へ伺いお話しします。

対象	区内在住・在勤・在学の10人以上の団体・グループ
日時	午前9時～午後9時の2時間以内（年末年始を除く）
会場	区内のご希望の場所 (会場については、申込み団体・グループでご用意ください)
申込書配布	区ホームページ・区民事務所・地区センター・図書館

この講座は、政治・宗教・営利活動を目的とした催しには利用できません。また、区に対する陳情などをお受けする目的で行うものではありませんので、ご理解のほどお願いいたします。

**出前講座についての
ご質問は**

政策企画課 協働推進担当
電話 **03-5654-8177**

葛飾区協働推進担当からのお知らせ

葛飾区 職員出前講座を ご利用ください



職員出前講座とは…

葛飾区では、かねてよりさまざまな方々によって、地域を良くしようとする活動が行われてきました。区民・事業者の皆さんと区が「協働」することで、こうした活動を一層素晴らしいものにすることができます。

協働するためには、まず区の現状や取り組みなどの情報を共有することが大切です。葛飾区職員出前講座は、区職員が皆さんの地域に伺い、区の現状や取り組みについてお話しするものです。



さまざまなメニューをご用意しています。どうぞお気軽にご利用ください。メニュー一覧を掲載しているパンフレットは、区役所、区民事務所、地区センター、図書館で配布しております。また、区公式ホームページ(<http://www.city.katsushika.lg.jp/>)にも掲載しております。

事業名	問い合わせ先	電話番号
葛飾の川をきれいにする取り組み	環境課	03-5654-8237
松南の森プロジェクト		
●新小岩南地域まちづくり協議会について	新小岩駅周辺開発担当課	03-5654-8331
●花いっぱいのまちづくりについて	環境課	03-5654-8239
資源の集団回収	清掃事務所	03-3693-6113
葛飾区地球温暖化対策地域協議会	環境課	03-5654-8228
まちづくり懇談会	地域振興課	03-5654-8219
葛飾区産業フェア	商工振興課	03-3838-5587
葛飾菖蒲まつり（堀切菖蒲園会場）	観光課	03-3838-5558
葛飾菖蒲まつり（都立水元公園会場）	観光課	03-3838-5558
亀有地区商店街協議会	商工振興課	03-3838-5559
バス社会実験運行		
●社会実験について	街づくり調整課	03-5654-8397
●ラッピングバスなどについて	観光課	03-3838-5558
かつしかフードフェスタ 2014	商工振興課	03-3838-5559
葛飾納涼花火大会	観光課	03-3838-5558

この小冊子に関する
問い合わせは

政策企画課 協働推進担当
電話 **03-5654-8177**

事業名	問い合わせ先	電話番号
地域別地域防災会議	防災課	03-5654-8224
総合防災訓練	防災課	03-5654-8572
市民消火隊	防災課	03-5654-8224
木造住宅等耐震事業・相談会	建築課	03-5654-8552
放置自転車追放および盗難防止キャンペーン	道路管理課	03-5654-8386
葛飾区消費生活展	消費生活センター	03-5698-2316
青色パトロール隊（堀切地区）	防災課	03-5654-8478
学校地域応援団	地域教育課	03-5654-8589
かつしか郷土かるた	生涯学習課	03-5654-8475
葛飾区子育てひろば「いろは」	子ども家庭支援課	03-3602-1386
ふれあい共食会	高齢者支援課	03-5654-8256
葛飾区シニア・ピア・傾聴ボランティア	高齢者支援課	03-5654-8256
かつしかはつらつ体操	健康づくり課	03-3602-1268
運動週間推進プラチナ・フィットネス	高齢者支援課	03-5654-8256
「かつしかの元気食堂」推進事業	健康づくり課	03-3602-1268
障害者自立支援事業	障害福祉課	03-5654-8262
●N P O法人 未来空間ぱむぱむ（葛飾区青戸 5-2-9-103）		03-3604-7596
花いっぱいのまちづくり		
●公園について	公園課	03-3693-1777
●講座について	生涯学習課	03-5654-8479
●花いっぱいのまちづくりについて	環境課	03-5654-8239